

第 22 回総会と “「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会”

ZOOM ミーティング参加者アンケート

2020 年 8 月 30 日 “知的障害者を普通高校へ北河内連絡会”

- 1、友人・知人から伝えられて 2、仙台市 3、保護者
4、ご意見・ご感想

療育手帳 A の小学 3 年生の息子がいます。

中学の後は特別支援学校の高等部だろうなあと思っておりました。

普通高校という選択肢がある大阪府立の現状を知ることができ、衝撃でした。

長年の取り組みが今につながっているのでしょうか。

こちらでもできたら良いのに、と感じました。

とはいえ、息子の意志が大切です。

Zoomのおかげで共に学ぶことができましたことに感謝です。ありがとうございました。

- 1、友人・知人に伝えられて 2、宮城県仙台市 3、保護者
4、御意見・ご感想

まずは、同じ日本でこんなにも教育環境が違うのかと、カルチャーショックを受けました。大阪に友人もいて、中学校でも通常学級で過ごしているとか、高校に支援コースができたという話は聞いていましたが、こんなふうに行政の方でも積極的に共生共育を推進しているとは知らず、とてもうらやましく思いました。

仙台にも「共育を考える会」という団体があり、どんな子も一緒に教育を受ける権利があると、就学相談会を行ったり、いろいろな講演会や会報作成などの活動はしていますが（私は入会はしていませんが、会報だけは購読しています）、一番運動が盛んだったのは 20 年ぐらい前で、今は障害のある子の親も、通常学級よりも支援学級や支援学校への進学を希望する人が多くなり、正直マイナーな感じは否めません。また宮城県でも、定時制高校など定員割している高校を受験した人がいて、定員内なのに「不合格」とされ、何年も受験し県教委と闘っている方たちもいますが、なかなか実現からは程遠い感じです。

なので、大阪の公立高校にこんなにも道が開かれていることに衝撃を覚えました。高校でこんなに開かれているということは、小中学校では障害のあるお子さんが当たり前に通っているということなんだろうと思います。素晴らしいです。それは障害のある子の権利と言うだけでなく、それ以外の子どもたちにも、共に学び共に生活することで、多様な人が世の中にいて、どんな自分でも大事にされるんだということを学ぶ貴重な機会のはずです。今は、大阪以外のところは、いや私が知らないだけなので、それは言い過ぎですね、少なくとも宮城では、障害児教育を専門とする大学の先生が、教員の免許更新の講義で「将来一緒のための別々の教育、と言う考え方もある」と平気で現役教員に対して話しているようなところなので（すみません、私自身非常勤ながら教員で数年前に免許更新の講座を受けた時のことです）、どんどんインクルーシブ教育からは遠ざかっているのが現状です。でも大阪のようなところが同じ日本の中にあることを知って、とても心強くなりました。

ただ気になったのは、高校卒業後の進路です。高校の後もさらに学びの場がつながっているのか、あるいは就労するにしても、どこまで学校がサポートしてくれるのか、そのあたりをお聞きしたいです。知的障害のある子は、小中学校では他の子より成長が遅いからと、個別の教育の方が効果が上がるとさんざん「専門家」に言われ続けてきたのに（うちは小学校 6 年間通常学級にただけで、そのような言われようでした。親の見栄やエゴじゃないか、本人がかわいそうと）、就労する時は、普通の子よりも幼いまま早く社会に出なくてはいけないと言うのは、どうも納得が行きません。こう言う子たちだからこそ、もっとゆっくり「高等教育」を受けてしっかり成長してから仕事も選ぶべきではないのか、もっときちんと学べば、もっと仕事においても力を発揮できるのではないかと思います。きっとその点でも大阪は進んでいるのだらうと思いますので、次回またこうした機会があれば、高校卒業後の進路や就労についてもお話をお聞きしたいです。

それにしても、ここまでするまでに、活動を地道に粘り強く進めて来られた皆様に頭が下がります。それぞれの地域でも簡単にあきらめず、保護者や教育関係者が連携して活動していけばよいのだらうと思いますが、学校にいる期間は短く、親も我が子さえ良ければとなりがちなもので、なかなか難しいです。私自身親の会の会長をしておりますが、指導力不足で、そうした活動（行政への働きかけ）は全くできていません。同志をつくり動く、

その実行力が素晴らしいと思いました。刺激的なお話をありがとうございました。

○ 1、何から知ったか : Facebook 2、青森県八戸市 3、当事者・保護者

4、御意見・ご感想

これは、高校進学に限ったことではないのかもしれませんが、障害者の就学もしくは入学については、学籍等のややこしい問題はさておき、良かれ悪しかれ、定員内不合格といった漏れを出さない。障害当事者とその保護者の希望は、可能な限り、もしくは必ず叶えて差し上げたいという行政側の姿勢には、驚きとともに嘆息しました。行政側もこの取り組みには積極的で、それなりに成果も上がっているとおっしゃっているようですし、この先、障害者の受け入れを行う高校は、増えていきそうな気がします。同時に、曖昧な支援校とやらも幅を利かせそうですが。

以前から疑問だったのは、障害者の受け入れ態勢の整っている高校は、その枠が少なすぎて、倍率が半端ないということ。これでは、受験戦争ですよ。感心しません。

「0点でも高校へ行けますよ。点数だけでは合否の対象にはしません。」評価基準他 諸々素晴らしい。是非、全国のお手本になっていただきたく存じます。

とはいうものの、

「とにかく、最初から最後まで、つまり朝から昼ごはん食べて夕方近くまで、受験会場にいて、机にむかっているなければ合格は出来ない。」ということの後から知り受験そのものが嫌で会場で大騒ぎし、途中退席した結果、受験拒否とみなされ、結局不合格になった我が息子のことを思えば、結局、とどのつまり、「受験」制度にガチに対処できるような障害者でなければ、門前払いってことなんだなと。少々残念に思いました。

息子は、受験が嫌だったのであって、高校進学したくないのではありません。そのあたりは、たぶん、理解してもらえないところなんでしょうね。

全国的には少子化を理由に統廃合される高校が多く、この数年で随分減りました。募集定員を減らし対応したりしているものの、きちんと機能しているとは思えません。学校に限らず、障害者や高齢者、医療的ケアを必要とする人たちに対し、受け入れ拒否をする言い訳は、「人手不足」「人材不足」先生方がこんなに大変な思いをしているのに、これ以上、疲弊させるのですか？なんてPTAのお偉いさんが提言したりする。世間一般の見解も、ほぼこれに近いような気がします。これを覆すのは、並大抵のことではないですが、大阪の事例があるから、なんか頑張れる気にさせられます。

30ページにも及ぶ資料と「定員内不合格」の一言が、ほぼ後半近くなるまで全くでなかったことに驚愕しました。長年の実績、汗の涙の結果ですね。

大阪は、わが国ではないのだなと思ったくらいに素晴らしい。ただ、「受験」そのものが嫌いな息子は、たとえ、大阪に居ても、高校には行けなかったらうなと。もう一つ付け加えるとすれば、「定員内不合格」だけでは戦えませんね。絵にかいた餅のような、なんの法的効力もない「障害者差別解消法」もあまり力にはならないように思います。

すみません。まとまりませんが、ただただ、圧倒的な力を見せつけられただけって感じでした。それは、単に、高校受験を諦めざるを得なかった母親としての慚愧の念だけではないとお察しした抱きたく存じます。

ではでは、皆様のますますのご活躍をお祈りし、この辺で失礼させていただきます。

○ 埼玉在住

「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会の初 ZOOM 開催、お疲れ様でした。

せっかくお誘いいただきましたのに、ごめんなさい。

昨日は、知人で、自らも障害のある人が、半世紀近く前に多く行われた脳性まひ他の障害を「直す」として行われた脳手術について論文を書くというので、それにつきあってしまい、まったく参加することができませんでした。

埼玉でも、27、28日には総合県交渉を行い、そのトップは教育局でした。そして、今日、31日(月)は、義務教育指導課を窓口として、そこに高校教育指導課、特別支援教育課も含めて、私たちと年3回行っている「共に学ぶ教育の推進に向けた共同研究会」の今年度第1回会合をもちました。

総合県交渉でも、本日の共同研究会でも、大阪の「通学区域の小中学校がすべての就学(進学)相談の窓口」、「自校で受け入れるという姿勢で(就学・進学相談に)臨む」ということを埼玉でも基本として公に表明できな

いかとこちらから投げかけました。

今後ともよろしくおつきあいいただけますようお願いいたします。

- 1、Facebook 2、東京 3、保護者
- 4、ご意見・ご感想

長年の活動に敬意を表します。

コロナ禍のおかげで、遠方での学習会に参加することができ、悪い事ばかりではないな、チャンスは生かさなければと思いました。

長時間だったため、全体の半分程度しか聞くことができませんでしたが、実際に高校で学ばれている障害者の方々の出演に勇気づけられました。

大阪での取り組みは、是非全国に広げて行きたいものだと思います。

私は今年度、市の障害者計画策定市民委員を務めており、大阪のシステムを紹介し、市の計画に共生のための計画を提案したいと思います。

学習会の運営、沢山の資料等、ありがとうございました。

- 1、友人・知人に知らされて 2、千葉県浦安市 3、保護者
- 4、ご意見・ご感想

千葉県から参加させていただきました。感想は大阪がどうやって障害のあるお子さんも高校に行けるのか、仕組みがわかり参考になりました。疑問に思った点は、自立、共生と分ける意味はよくわからなかったです。あとエンパワメントスクールはまた違うものなのかもよくわかりませんでした。府教委の方が学区がないとおっしゃっていたと思うのですが、あまりに遠い学校でもいいよと言われても困るなと思いました。それだけ沢山近くの高校に行けるようになっていくかもしれないですが、島田様の話はお子さんの気持ちに徐々に親御さんが気付いたりして、少し自分と重なるようで共感しました。他府県から見たら大阪は別格で障害のある子どもたちが普通の学校に行っているというイメージなのですが、住んでいる方は普通の高校にも行けるんだと思っているところがちょっと意外でした。質問で出ていたタブレットが配慮されるかどうかという点は同じように思っている方もいると思うのでどのようになるのか行方が気になりました。あと代表交代で障害当事者の方が代表をしておられ、当たり前なことだけど、とてもいいな、マネしたいなと思いました。

私の子供は昨年受検して浪人中です。受検を通して疑問に思ったのは、千葉では特別配慮申請書を申請して配慮事項が決定されますが、教員の意識は配慮申請が満たされること＝合理的配慮であると思っている点です。知的障害の重い子は配慮申請で普通の子供と同じに並べさせられるだけで、まったく平等ではありません。これが合理的配慮なのか？と感じます。関係ないですが合理的配慮という言葉は本当によくない。合理的＝効率的と置き換えて考えている感もあります。合理的配慮は今のままだと本当に都合よく行政に変えられて使えないと思っています。

あと大阪ではどのようにしているのか教えていただけたらありがたいのですが、千葉で県教委交渉の際、要望書の回答を文章で求めています。毎回口頭で回答されます。大阪では条例などで文書での回答など決まっているのでしょうか？

あと、今回進行表はメールで送っていただいたのですが、資料などあれば参考にさせていただきたいので送っていただければと思います。

ZOOMで参加出来てよかったです。ありがとうございました。

- 1メール等の情報から 2、大阪府交野市 3、保護者
- 4、ご意見・ご感想

初めてオンライン会議という事で、最初は少しとまどいしましたが、まず聞くだけでもと思い参加してみました。参加して良かったです。

最初はビデオとマイクのオンオフなど自分の状態がよくわからず、多少もたもたしましたが会場が映されると、いつもの知っている皆さんの顔が見れて、安心しました。

たくさん文字で現在の進行状況が分かるようにされていて、わかりやすかったです。大阪以外の方がたくさん参加していただいたおかげで、大阪の支援のレベルが高い事をあらためて感じました。高校に入学された、坂東

さんは、息子の先輩なので、息子は喜んで見ていました。元気に通っていらっしゃるようでとても嬉しく思いました。

島田さんのお話は、詳しく丁寧に話していただいて、とてもわかりやすかったです。やはり、高校は学校にもよるのだろうけど、厳しい面もあるんだなと感じたり、その中で、いじめがあって登校したくない娘さんの気持ちに寄り添い学校まで一緒に行ったのは、本当に大変だっただろうなと思いました。最終的には、子供の気持ちを汲み取って本当に行きたい所をさがしたあげるのは親しかいないと気持ちを強く持とうと思いました。下のお子さんも高校受験を考えていると言われた気持ちも、息子と同じ状況かと想像して共感しました。

貴重な体験を話していただいて本当にありがとうございました。

松森さんが、いつから知的障害者はみんなと一緒に高校に行ってはいけないと考えるようになったのか？と言われたのが、とても心に残りました。

私の息子は今中学2年ですが、去年の中学入学時、この会に出会う前は、一般高校の受験は諦めていました。中学の先生たちから、なぜ知的障害なのにここにきたのか という圧力が予想以上に強かったからです。でも1年経つ今、担任の先生は息子の良さをすごく評価してくれるようになり、私もこの会を通じて知った事が大きな影響を受けて、息子が行きたい高校を選んで、行っちゃえばいいんだと思えるようになりました。

コロナのため、高校受験の意識が薄れかけていましたが、これを機に、来年の受験に向けて、また準備をして行こうと思います。この時期にオンラインの会議を開いていただいて本当に感謝していますありがとうございました。

○ 1. 2. 3. 当事者、保護者

4. ご意見、ご感想

全国からたくさんの方の参加があり、地域の方の個別の質問でも次につながるような話だったので、個人的にはよかったなあと思いました。

「自立支援コース→高等学校の学籍。卒業時は高等学校の卒業証書が授与される。共生推進教室→支援学校の学籍。卒業時は支援学校の卒業証書が授与される。」

だけでは違いがわかりにくかったのですが、共生推進では支援学校から先生が付いて来るという説明に、やっと大きな違いがあり、名前が違うことに納得しました。

全国の人がつながることで、定員内不合格になっている人も、国全体の問題として動かせたらなあと思います。

○ 1. フェイスブック・イベントページ 2. 高知県四万十市 3. 当事者 31 歳

4. ご意見・感想

大阪府では、インクルージブ教育が進んでいることに驚かされた。高知県では、大阪府のような制度はなく、一部では、特別支援学校を増やす方向で進んでいる。

大阪府の運動を参考にして、障がい当事者の私たちも高知県のインクルージブ教育実現のために動いていく必要があると思った。

○ 1. メール等の情報から 2. 大阪府枚方市 3. 保護者

4. ご意見・ご感想

コロナ禍の中、オンラインでもやっていただけてよかったです。ありがとうございました

○ 1. 友人・知人から伝えられて 2. 大阪府寝屋川市 3. 保護者

4. ご意見・ご感想

まずは学習会の準備をしてくださった皆様に心よりお礼申し上げます。大変貴重な時間となり、今後に向けて色々考えることができました。ありがとうございました。

子どもは現在小学5年生ですが、進学について悩みが多いです。今回、いろいろなお話を伺いとても参考になり励みになりました。日本全国、親は同じように悩んでいて、少しでも情報を集める姿を拝見し自分も頑張らないと、と思いました。

中学校での話を伺う機会が少なく、みなさんどのように過ごされたのか知りたいなといつも思います。特に、①地域の中学校の支援学級に行くか/支援学校に行くか、②高校に行く前に中学校(支援学級)/支援学校でどのよ

うな準備をするべきか、いろいろと確認しながら、まずは次の進学コースである中学校か支援学校かを、この1年でよく検討していきたいと思います。その参考になる先輩方の体験談など聞ける機会があれば、また是非参加したいと思います。引き続き、このメール宛てにも情報連携いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

○ 1. 片岡さんから聞きました 2. 大阪市 3. 保護者

4. ご意見・ご感想

このように、子どものことでのいろんな集いに顔を出させてもらおうと、そのたびに新しい情報や現状報告を聞くことができたいへん参考になります。障害者の入試制度は複雑というか、用意すべきこと、日程とかも気をつけるべきことがあり、当方は中学2年なので、来年のことで、今からしっかり頭に入れておき、一部書類も準備しておかないといけないと感じました。わざわざ休日での出席を頼まれたと思いますが、教育庁の人の話は、公務員という立場上、パンフレットを棒読みして、質問に無難に答えるしかないかとは思いますが、何か人ごとのような感触を受けました。自立支援コースなども今後もっと募集定員を増やしてもらいたいです。現状の倍率では大学受験並みの数字になっているので、そういうことも改善してもらいたいです。合格の決め手もわかりません。わざと障害者を増やして、結果として分断化が進行する支援学校を増加させる行政には、インクルーシブ教育を推進する本気度はどれほどあるのか疑問です。

○ 1. フェイスブックの障害者支援のグループでの投稿から見ました。2. 福井県越前市 3. 訪問介護事業所の利用者及び地元のボランティア団体の関係者としてかかわっています。

4. ご意見・ご感想

大阪の共生教育の取り組みがわかり、福井ではまだまだ遅れているなど思い知らされました。障害があってもなくても、ともに地域社会で生きていくにはどうすればいいか、それが子供のころからの教育でみんなが住みやすい地域社会になっていくとしたら、少しでもなんらかの形で協力できればと思います。

○ 1. 学校の先生から 2. 寝屋川市 3. 保護者

4. ご意見・ご感想

初めてのZoom会議でしたので、こちら側でオーディオの音の出し方がわからず出すまで時間がかかりました。でも音が出始めてからは問題もなく、こちらの映像や音も消しておけるので快適でした。また、質問者の方などの画面の切り替えもスムーズでしたし、どこにいても参加できるので、とても良かったと思います。

ただ会議の時間が長いので、自宅で子どもを見てくれている人がいなければ、ずっと参加するという事は難しいと思いました。

現在の高校受験の状況が詳しく学べたのでとても参考になりました！本当にありがとうございました。

○ 1. 高校問題を考える会にて知った 2. 大阪市 3. NPO

4. ご意見・ご感想

島田さんという具体的な生の話をご本人から聞いたことがとてもよかったです。また、フリートークで参加者からの質問や相談に対して、会場が一体となって一緒に考えている雰囲気がとてもいいなあと感じました。そしてなにより、今まで直に聞くことができていなかった障害児の生の声、そして親の声に触れることができました。本などで知ることもちろん大事ですが、直接声を聴くことの重み・大切さを身をもって感じました。

○ 1. 友人・知人から伝えられて 2. 京都府八幡市 3. 枚方市幼児ことばの教室 言語聴覚士

4. ご意見・ご感想

13時30分～17時過ぎまで、長い集会でしたが時間はあっという間に過ぎていきました。

まず驚いたのは、大阪の北河内というローカルな集会だったものが、オンライン集会になることによって、北海道から沖縄まで全国から参加者が集う集会になっていたことです。

「大阪府教育庁の山崎さんのお話」で興味深かったのは、府立高校の「自立支援コース」「共生推進教室」で、評価についての合理的配慮が実施されていることでした。個別の指導計画、個別の教育支援計画の目標に基づいて、オーダーメイドの評価基準が作られ、それに基づく評価が実施され、それをもって高校（共生推進教室は高等支

援学校)を卒業することができます。そして、それは例えば大学受験を希望する人の受験資格を担保することになります。

ひるがえって、各市の中学校のことを考えてみると、この「評価についての合理的配慮」が確立されていないのではないかと思います。というのは、中学校の支援学級に在籍していると、そこでの評価が例えば高校入試の内申点などに正当に反映されていないのではないかと思います。

また、通常学級在籍の場合でも特別な配慮の下で行われた試験、例えば聴覚障害のある人のリスニングテストの筆答による代替え、読み書き障害のある人のタブレット等を使った解答などは、正当に評価の対象として扱われているのかどうか？

「片岡次雄さんのお話」にも、支援学級での評価や、特別な配慮や支援の下での評価を入学の際にどう反映させるかという内容がありました。それは入試のときの配慮事項としても現れてきます。配慮してくれるのを待つのではなく、積極的に府教育庁の担当者に働きかけ相談していくことが大切だと思います。

その際、各市の教育委員会や在籍する市立中学校の担当者が、障害当事者の立場で積極的に動かなければ、当事者や保護者は非常に苦勞することになります。

「島田さんのお話」では、ご自身の子育て経験のなかから導き出された、「自分で決めることが自立の始まりだ」というフレーズに強く共感しました。親や教師や支援者は、当事者の自己決定を大切にしなければならないあと再確認しました。

「フリートーク」では、北海道や、関東や、沖縄や、四国高知から、熱心な質問や驚きを伴った感想が出されました。しかし、大阪はすごいと言われる一方で、北河内在住の保護者からは、中学校や教育委員会との合理的配慮についてのやりとりに苦勞している状況も出されました。

最後のプログラムには、残念ながら個人的な用で参加できませんでした。

- 1. メール等の情報から 2. 姫路市 3. 小学校教職員
- 4. ご意見・ご感想

大阪の様子を見せていただきありがとうございました。本人、保護者、が中心となって会を運営されている様子や次の方への引継ぎの様子が伝わってきました。保護者のお話の中では、自分の考えが変わっていくことの話もあり、共感しました。保護者も教師も誰でも、自分の経験などから自分の障害者観を作り上げていて、それは、完璧なものではなく、当事者の方の思いを聞く中で作り上げていくものであると思います。当事者の話を聞ける機会はとても大切なものだと思っています。今回の話は、ZOOMで私自身ちょっと落ち着いて集中して聞けていない部分も多くあったので、わかりませんが、当事者のお話もあったのかどうかわかりませんが、聞いてみたいなあと思いました。

貴重な機会ありがとうございました。姫路の組合のなかまにお知らせしましたが、たぶん誰も参加してないと思います。これがひめじの現実です。保護者の会のつながりもなく、課題はいっぱいあります。細々と姫路のなかままでできることをやっつけていこうと思います。

ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

- 1. 支援級からプリント配布 自分でたまたま見つけて 2. 寝屋川市 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

小学校の支援級に在籍しています。私の在住する市では、先生方は一生懸命ですが知識不足はいなめません。保護者から相談され情報提供を求められても、対応するための情報や知識が少なく、巡回指導員もひっ迫しており年1回の面接も受けられない状況です。

.....

小学校での生活を始めてから、後になって子どもの障害が判明するケースが増えており、その時に動揺する保護者から、「どこに相談すればいいのか。どう子どもと向き合えばいいのか」と学校側が相談されても対応できず、「支援級に入って様子をみられては」でその後の福祉的対応は現状では放置です。小学校も中学校も校長先生の胸先三寸、同じ市内の学校なのに校長によって対応は全く違います。学校と一緒に頑張ってくれないと私たちはどうしようもないのに・・・学習会に参加して、高校進学に向けて「中学校で実績・事例をつくる」重要性を知ることができました。ですが、実際はとても厳しいです。私は同じ思いを一緒にする保護者たちで支援級父母・学童父母として、何度も市の教育委員会や学校側と話し合いを持ち、要望を届けてきましたが状況は厳しく、特

に支援級児童や要配慮児童向けの ITC 教育の導入を強く要望してきましたが、芳しくありません。今年度はコロナの影響でインターネット環境下での家庭学習が始まり、少しは牙城を崩せるのでは…と期待して今年度も要望を提出する予定です。

ちなみに市や校長からの回答では、学校からの外部へのインターネット接続は出来なくなっており、タブレット学習も学内ネットワークもしくはインストール済みのソフトのみ使用可能であること。セキュリティの面の問題や広く活用するために専門の人員と設備、予算が大きく必要となるので現状は難しいこと。代読代筆で対応できているため、個人でのタブレット持ち込みは今のところ事例はないこと。高価な機器であるため学内で紛失しても責任が取れないこと、子ども達がうらやむこと…など挙げられました。正直、色々とめんどくさいんだな～というのが個人的感想です。子ども達への理解・周知は本人・保護者・先生方と協力していけば解決できると思いますし、個人の学習補助用具として個人で持ち込むのだから、そこは話し合いで解決できると思います。

市では通常級・支援級ともにタブレットやPC学習は必要と考えており、1クラス分は確保して授業での使用時のみ貸し出しをしています。しかし、個別対応となると、タブレットの利用は平等に行われるべきだと考えてらっしゃるようなので、支援級の子たちだけに特別に支給するということは、あちこちから不満の声もあがるし、難しいという感じの話し合いになっています。

「平等」って何なのだろう、と考えてしまいました。他府県ではタブレット持ち込みが許可されていますのに。

学習会に参加して、似たような悩みをもつ方、先に少しずつ色々なハードルをクリアされて来た方、困りごとを抱えている子どもたち・家族に目を向けて手を差し伸べて、次の世代に一生懸命バトンを繋ごうと活動して下さっている方たちがいることを知ることができて、とても嬉しかったです。

当日、運営されている皆さんが、「楽しんでください」「子育て、家事で大変で気持ちに余裕がないですね」と画面越しに声をかけて下さっていたのにも気持ちが救われました。

周りの人達には伝わらない大変さ…いつも気持ちをコントロールしないと、子どもは何も悪くないのに、頑張っている子どもに当たってしまいそうになること。子どものために私のためにと頑張っていて、いつもなるべく子どもには笑顔を返せるようにしていること。日日の学校や地域との交渉・対応に気づかないうちに気持ちは張りつめていて、理解ない、心無い他者から言葉に心の糸がプツリと切れてしまって絶望してしまうときがあること。

身近な保護者とのピアな集まりのときにも、多くの方が同じような心情を教えてくださいます。なので、多分わかって下さっているんだな、知ってらっしゃるんだな、と私の勝手な想像ですが、そこからくる言葉なんじゃないかと感じて、少し気持ちがスッキリしました。「大丈夫、まだここが行き止まりじゃない」と希望が持てました。

片岡さんからの情報や説明はとてもためになり、勉強になりました。小学校の高学年ですが、やはり今から少しずつ勉強して準備して、子どもと話し合っ進めていかないといけないと確信しました。

子どもが「どうしたいのか。どんな分野に興味があるのか。何をがんばられるのか」を無理なく、ゆっくりと成長を見守りつつ、見極めていくことも大切なのかな、と思いました。

初めての ZOOM でしたので、とてもドキドキして、つなげる不安もありましたが、皆さんが同じように不慣れで手探りでアットホームに運営されているのを感じられて、リラックスして参加することができました。次の機会も勉強させていただいたら嬉しいです。

毎日、自分たちの事で精一杯ですが、私も手の届く範囲で身近な仲間たちと、無理なく少しずつ協力して活動を続けられれば良いなと改めて思えました。ありがとうございました。

追伸 子どもの保育をしながらだったり、自分や家族が体調が悪くても看病しながら参加しやすいので、ZOOM に良い点はあるのだなと感じました。個人的には直接の方が好きですが、これからの時代、コロナが落ち着いても併用できたら、面白いのかもしれない。実況中継のように見て参加できると思った次第です。

- 1. メール等の情報から 2. 北河内以外 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

リモートでの開催お疲れ様です。おかげさまで、遠方からでも参加することができました。雰囲気もよくわか

り、その場に参加した気持ちになりました。関係者の方にお礼申し上げます。当事者の方の新代表、卒業、入学
当事者のご紹介、と総会はとても嬉しく、拍手しながら参加させていただきました。

学習会については、最初に「障害児にいろいろな選択肢があることは良いことだ」と司会者の方がおっしゃった
ので、かなり驚きました。高校進学にあたって障害のない子供には示されない選択肢は障害者の分離、排除だ
と
思っているのです。

定員内不合格が無いということは素晴らしいことだと思います。大阪の運動の成果だと思います。であるなら、
少子化の今、高校の定員を減らさずに、定員をゆったりさせて、高校に誰でも入れるようにすれば良いだけでは
ないかと思いました。別枠も嫌だし、自立とか共生とかいう言葉も嫌な言葉です。高校も世の中も、ごちゃ混ぜ
にいるのがふつうになってほしいです。

- 1. 学校の先生から 2. 枚方市 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

初めて参加させていただきました。時間的な制約で出向いての参加が難しく、web でなければきっと参加でき
ていなかったと思います。貴重な機会をありがとうございました。

我が家は小3の支援学級在籍の子がおり、地域の中学校に行かせてやっていけるか、支援学校中等部にするか、
そのうち悩む時期がやって来ると思います。先輩方の体験や意見は大変参考になりました。

諸先輩方が声を上げ続けて下さったおかげで今の制度があるのだということも、恥ずかしながら初めて知りま
した。「一緒に頑張って変えていきましょう！」の力強いお言葉にとっても励まされました。本当にありがとうござ
い
ました。

- 1. フェイスブック 2. 東京 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

長年の活動に敬意を表します。

コロナ禍のおかげで、遠方での学習会に参加することができ、悪い事ばかりではないな、チャンスは生かさな
ければと思いました。

長時間だったため、全体の半分程度しか聞くことができませんでしたが、実際に高校で学ばれている障害者の
方々の出演に勇気づけられました。

大阪での取り組みは、是非全国に広げて行きたいものだと思います。

私は今年度、市の障害者計画策定市民委員を務めており、大阪のシステムを紹介し、市の計画に共生のための
計画を提案したいと思います。

学習会の運営、沢山の資料等、ありがとうございました。

- 1. 学校の先生から 2. 枚方市 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

初めて参加させていただきました。支援学級に在籍している小3の娘がいます。まだ先の話ですが、中学をど
うしたらいいのか？悩んでいます。ですので、学習会の内容は、非常に関心がある内容でした。また、参加させ
て
いただきたいと思
います。

- ご連絡ありがとうございます。

実は昨日、急な仕事ははいつてしまい学習会参加できませんでした。せっかくご招待いただいたのに申し訳ござ
い
ません。次回開催されるご予約はありますでしょうか？その際はぜひ参加させていただければと思
い
ます。お
手
数
だけ
お
か
け
し
て
し
ま
い
申
し
訳
ご
ざ
い
ま
せ
ん
で
し
た。

- 1. 友人・知人から伝えられて 2. 寝屋川市 3. 保護者
- 4. ご意見・ご感想

学習会の開催ありがとうございました。初めての参加でしたが、驚きの連続でした。

エンパワメントスクール、自立支援コース、共生コースがある事も知りませんでした。

私は、うちの息子は障がいがあるので、支援学校しかないし、周りに迷惑をかけたらいけないや、意見を言うな

んてとんでもない、そっと暮らすしかないと思い込んでいました。

今回の研修で意思決定は本人にしてもらう事も大切さをまなびました。

本当にありがとうございました。

○ このたびは、申し込みが遅くなりご迷惑をおかけしたにもかかわらず、当日の資料までお送りいただき誠にありがとうございました。じっくり読ませていただきます。

わが子は現在小学生ですが、地域の中学校、そして高校へも進学できればと思い描いています。今後も皆さまのご活動から勉強させていただけましたら幸いです。どうかよろしく願い申し上げます。

毎度遅くに申し訳ありません。定例会の案内をお送りいただけるとのこと、誠にありがとうございます。

兵庫県、特に西宮はまだあまりインクルーシブの土壌がなく、山あり谷ありの日々ですが大阪の皆さんの先進的な取り組みから学ばせていただきたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。

○ 過日は直前に連絡したにもかかわらず、ご丁寧に対応いただき感謝の限りです。

無事に入室し、話を聞かせていただくことができました。誠にありがとうございました。

大阪府の取り組みが兵庫県でも検討できないかと思い、拝聴した次第です。全体で、特別に支援を必要とする児童生徒が生きていきやすい仕組みづくりを進めていきたいと思っております。

今後ともご指導を宜しく願い申し上げます。

○ (寝屋川市保護者) お世話になります。

先日は、リモート学習会ありがとうございました。アンケートの返信が難しかったので、こちらに送らせて頂きます。

スマホの調子が悪く、途中までしか参加できませんでした。残念です。やはり、直接会ってお話がわかりやすいですが、こんなにも仲間がいるんだと驚き、心強かったです。

さて、7月に寝屋川市の療育相談というのを受けました。その流れで、学校側がうちの息子に、近畿情報処理高等専修学校を薦めようとしている事がわかりました。私は一回もその名前を口にした事がないのにです。

びっくりしてしまいました。今度、学校に行く機会に先生と話してみようと思います。

では、また参加させていただきます。

ありがとうございました。